

山崎高校 平成31年度 教科 芸術 科目 書道Ⅱ 年間授業計画

教科:(芸術) 科目:(書道Ⅱ) 単位数:2単位

対象:(第2学年3組～4組)

使用教科書:書Ⅱ(光村図書出版)

使用教材:なし

|    | 指導内容                     | 科目書道Ⅱの具体的な指導目標 □  | 評価の観点の方法                 | 予定<br>時数 |
|----|--------------------------|---|--------------------------|----------|
| 4月 | 隷書の学習<br>①隷書について<br>②曹全碑 | 隷書の特徴を理解し、基本用筆(逆筆・波たく)を身につける。   | 知・技・思・関<br>ノート提出<br>作品提出 | 2        |
|    | 隷書の学習<br>②曹全碑            | 曹全碑の鑑賞・臨書を通して、隷書の特徴を据え書体に即した用筆運筆を理解させる。   | 知・技・思・関<br>ノート提出<br>作品提出 | 2        |
|    | ③乙瑛碑                     | 乙瑛碑の鑑賞・臨書を通して、隷書の特徴を据え書体に即した用筆運筆を理解させる。   | 知・技・思・関<br>ノート提出<br>作品提出 | 2        |
| 5月 | ③乙瑛碑                     | 乙瑛碑の鑑賞・臨書を通して、隷書の特徴、書体に即した用筆運筆を理解させる。   | 知・技・思・関<br>ノート提出<br>作品提出 | 2        |
|    | 篆書の学習<br>①篆書について         | 篆書の特徴を理解し、基本用筆を身につける。<br>字書から自分の名前の篆書体を引き、半紙に書く。                                | 知・技・思・関<br>ノート提出<br>作品提出 | 2        |
|    | 篆書の学習<br>①大孟鼎            | 大孟鼎の鑑賞・臨書を通して、篆書の特徴を、書体に即した用筆運筆を理解させる。  | 知・技・思・関<br>ノート提出<br>作品提出 | 2        |
|    | 篆書の学習<br>①大孟鼎            | 大孟鼎の鑑賞・臨書を通して、篆書の特徴を、書体に即した用筆運筆を理解させる。  | 知・技・思・関<br>ノート提出<br>作品提出 | 2        |
|    | 篆書の学習<br>③石鼓文            | 石鼓文の鑑賞・臨書を通して、篆書の特徴を、書体に即した用筆運筆を理解させる。  | 知・技・思・関<br>ノート提出<br>作品提出 | 2        |
| 6月 | 篆書の学習<br>③石鼓文            | 石鼓文の鑑賞・臨書を通して、篆書の特徴を、書体に即した用筆運筆を理解させる。  | 知・技・思・関<br>ノート提出<br>作品提出 | 2        |
|    | ④甲骨文                     | 甲骨文的鑑賞・臨書を通して、篆書の特徴を、書体に即した用筆運筆を理解させる。  | 知・技・思・関<br>ノート提出<br>作品提出 | 2        |
|    | ④甲骨文                     | 甲骨文的鑑賞・臨書を通して、篆書の特徴を、書体に即した用筆運筆を理解させる。  | 知・技・思・関<br>ノート提出<br>作品提出 | 2        |
|    | 篆刻                       | 篆刻を通して、書を刻す文化を理解させる。<br>篆刻における印の名称や種類、使い方、用具・用材について知る。<br>手順を理解し、構想を練り、制作へつなげる。 | 知・技・思・関<br>ノート提出<br>作品提出 | 2        |
|    | 篆刻<br>・姓名印を刻す            | 書体や書風、配字による表現の効果を理解し、構想させる。<br>篆刻の技能を習得し、姓名印を完成させる。                             | 知・技・思・関<br>ノート提出<br>作品提出 | 2        |
| 7月 | 篆刻<br>・姓名印を刻す            | 書体や書風、配字による表現の効果を理解し、構想させる。<br>篆刻の技能を習得し、姓名印を完成させる。                             | 知・技・思・関<br>ノート提出<br>作品提出 | 2        |
|    | 篆刻<br>・遊印を刻す             | 篆刻の技能を習得し、遊印を完成させる。   | 知・技・思・関<br>ノート提出<br>作品提出 | 2        |
| 8月 |                          |   |                          |          |
|    |                          |   |                          |          |
|    |                          |   |                          |          |

|     |                      |   |                          |   |
|-----|----------------------|---|--------------------------|---|
|     |                      |   |                          |   |
| 9月  | 漢字の学習<br>楷書・行書・草書の臨書 | 書かれた時代や書き手の個性による、書体の多彩な表現を感じ取らせる。<br>自分な好きな古典を選択、鑑賞し、半切に臨書する。                                   | 知・技・思・関<br>ノート提出<br>作品提出 | 2 |
|     | 漢字の学習<br>楷書・行書・草書の臨書 | 書かれた時代や書き手の個性による、書体の多彩な表現を感じ取らせる。<br>自分な好きな古典を選択、鑑賞し、半切に臨書する。                                   | 知・技・思・関<br>ノート提出<br>作品提出 | 2 |
|     | 漢字の学習<br>楷書・行書・草書の臨書 | 書かれた時代や書き手の個性による、書体の多彩な表現を感じ取らせる。<br>自分な好きな古典を選択、鑑賞し、半切に臨書する。                                   | 知・技・思・関<br>ノート提出<br>作品提出 | 2 |
|     | 漢字の学習<br>楷書・行書・草書の臨書 | 書かれた時代や書き手の個性による、書体の多彩な表現を感じ取らせる。<br>自分な好きな古典を選択、鑑賞し、半切に臨書する。                                   | 知・技・思・関<br>ノート提出<br>作品提出 | 2 |
| 10月 | 芸術としての書              | 書の美の諸要素や、表現方法・形式による効果を分析し、書の現代的意義について理解を深めさせる。  | 知・技・思・関<br>ノート提出<br>作品提出 | 2 |
|     | 漢字仮名交じりの書            | 古典や名筆にもとづき、漢字の書風に仮名を調和させ、表現を工夫して個性的に表現させる。<br>意図に即した用筆・運筆および用具・用材を選択させ、表現形式に応じて全体の構成を工夫して表現させる。 | 知・技・思・関<br>ノート提出<br>作品提出 | 2 |
|     | 漢字仮名交じりの書            | 古典や名筆にもとづき、漢字の書風に仮名を調和させ、表現を工夫して個性的に表現させる。<br>意図に即した用筆・運筆および用具・用材を選択させ、表現形式に応じて全体の構成を工夫して表現させる。 | 知・技・思・関<br>ノート提出<br>作品提出 | 2 |
|     | 漢字仮名交じりの書            | 古典や名筆にもとづき、漢字の書風に仮名を調和させ、表現を工夫して個性的に表現させる。<br>意図に即した用筆・運筆および用具・用材を選択させ、表現形式に応じて全体の構成を工夫して表現させる。 | 知・技・思・関<br>ノート提出<br>作品提出 | 2 |
| 11月 | 仮名の学習<br>高野切第一種      | 古筆を鑑賞し、その美を構成する諸要素や表現方法・形式などを理解させる。<br>高野切第一種の鑑賞・臨書を通じて、連綿や墨継ぎなど書風に即した用筆運筆を工夫させる。               | 知・技・思・関<br>ノート提出<br>作品提出 | 2 |
|     | 仮名の学習<br>高野切第一種      | 高野切第一種の鑑賞・臨書を通じて、連綿や墨継ぎなど書風にそくした用筆運筆を工夫させる。   | 知・技・思・関<br>ノート提出<br>作品提出 | 2 |
|     | 本阿弥切本古今和歌集           | 本阿弥切本古今和歌集の鑑賞・臨書を通じて、連綿や墨継ぎなど書風にそくした用筆運筆を工夫させる。   | 知・技・思・関<br>ノート提出<br>作品提出 | 2 |
|     | 本阿弥切本古今和歌集           | 本阿弥切本古今和歌集の鑑賞・臨書を通じて、連綿や墨継ぎなど書風にそくした用筆運筆を工夫させる。   | 知・技・思・関<br>ノート提出<br>作品提出 | 2 |
| 12月 | 創作<br>カレンダー          | 来年度のカレンダーに漢字・仮名・漢字仮名交じりの書を自由に創作する。<br>意図に応じて素材や表現を構想し、表現構成、用具用材を工夫して表現させる。                      | 知・技・思・関<br>ノート提出<br>作品提出 | 2 |
|     | 創作<br>カレンダー          | 来年度のカレンダーに漢字・仮名・漢字仮名交じりの書を自由に創作する。<br>意図に応じて素材や表現を構想し、表現構成、用具用材を工夫して表現させる。                      | 知・技・思・関<br>ノート提出<br>作品提出 | 2 |
|     |                      |   |                          |   |
|     |                      |   |                          |   |
| 1月  | 仮名の学習<br>散らし書き       | 継色紙を臨書することで、散らし書きの構成美を理解させる。  | 知・技・思・関<br>ノート提出<br>作品提出 | 2 |
|     | 百人一首の創作              | かるたに百人一首を臨書する。<br>古筆に基づく表現や形式に応じた構成を工夫させる。  | 知・技・思・関<br>ノート提出<br>作品提出 | 2 |
|     | 百人一首の創作              | かるたに百人一首を臨書する。<br>古筆に基づく表現や形式に応じた構成を工夫させる。  | 知・技・思・関<br>ノート提出<br>作品提出 | 2 |

|    |         |  |                          |   |
|----|---------|--|--------------------------|---|
|    | 百人一首の創作 | かるたに百人一首を臨書する。<br>古筆に基づく表現や形式に応じた構成を工夫させる。 | 知・技・思・関<br>ノート提出<br>作品提出 | 2 |
|    |         |  |                          |   |
| 2月 | 自主制作    | 作品を思いのままに制作してみる                            | 知・技・思・関<br>ノート提出         | 2 |
|    |         | 作品を思いのままに制作してみる                            | 知・技・思・関<br>ノート提出         | 2 |
|    |         | 作品を思いのままに制作してみる                            | 知・技・思・関<br>ノート提出         | 2 |
|    |         | 作品を思いのままに制作してみる                            | 知・技・思・関<br>ノート提出         | 2 |
|    |         |  |                          |   |
| 3月 | 自主制作    | 完成   | 知・技・思・関<br>ノート提出         | 2 |
|    |         |  |                          |   |
|    |         |  |                          |   |
|    |         |  |                          |   |
|    |         |  |                          |   |